

「順境の日も逆境の日も」 —先週の講壇より—

「順境の日には幸いを味わい、逆境の日にはよく考えよ。」 伝道者の書 7 : 14a 【新改訳 2017】

クリスチャン作家として有名な故三浦綾子さん、様々な病との闘いの人生であったということはよく知られています。二十四歳から十三年に及ぶ肺結核との闘病が始まり、続いて脊椎カリエスを併発。ギブスベッドに固定され、動かせるのは首だけ。排泄も一人ではできず、そんな生活が四年間も。その後も紫斑病、喉頭がん、帯状疱疹によって鼻がつぶれ、それが治ったと思ったら大腸がん。そして、パーキンソン病。そんな中での綾子さんのコメントが、致知出版社の書籍『人生の法則』に遺されています。

「神様が何か思し召しがあって私を病気にしたんだと思っています。神様にひいきにされていると思うこともあります。特別に目をかけられ、特別に任務を与えられたと……。いい気なもんですねえ（笑）」

順境だけだと信仰が必要なくなる、逆境だけだと神様を信じなくなる・・・だから両方の時が人生に与えられているのだと、頭では理解できます。でも本音で言えば、逆境はあまり歓迎したくありません。だから聖書は語っています、逆境の時には考えよと。何を考えるのでしょうか、何を思うのでしょうか、それは永遠の命を与えたもう神様のことを、です！

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024 年 11 月 10 日

オレンジ郡
キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「主を仰ぎ見て、光を得よ」

詩篇 34 : 5

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

ブレイク : 10:30-10:45

聖書クラス : 10:45-11:45

(現在第二と第四または第五週)

